

3 市民意見

計画の策定にあたっては、札幌市自治基本条例や子どもの最善の利益を実現するための権利条例の理念に則り、さまざまな手法で市民意見の把握に努めました。

6月に策定方針を公表してから、パンフレットやインターネットなどで意見募集を実施したほか、子どもを対象とした出前講座、まちづくりに関するシンポジウム（まちづくりトーク）の開催、市民会議の実施など、積極的な市民意向の把握に努めました。これらを通して把握したご意見は、施策の検討と事業選定の段階で参考としました。

また、定期的に行われている市民アンケートの結果は、計画策定前の調査として、第3次札幌新まちづくり計画策定方針を検討する段階で参考としました。

I 市民意向調査の概要

1 平成22年度第2回市民アンケート（一般市民アンケート）

- 調査期間 : 平成22年（2010年）12月1日（水）から12月27日（月）
調査対象者 : 札幌市全域の20歳以上の男女10,000人（住民基本台帳からの「等間隔無作為抽出」）
調査方法 : 調査票を郵送し、同封する返信用封筒で回収
調査内容 : まちづくりについて重要だと考える事柄を、44の選択肢の中から10個まで選択するとともに、まちづくりに関する意見を自由記載
回収数 : 5,077通（50.8%） 自由記載意見件数 : 1,612件

2 市民意見募集

- 調査期間 : 平成23年（2011年）6月10日（金）から8月31日（水）
募集方法 : ハガキ、FAX、Eメール、ホームページ上の投稿フォーム
返信用ハガキ付き意見募集パンフレットを市役所、区役所、まちづくりセンター、市内大学等で配布
募集内容 : 第3次札幌新まちづくり計画についての意見・提言を募集
意見提出 : 35人 意見件数 : 53件

3 子ども出前講座

- 調査期間 : 平成23年（2011年）6月17日（金）から7月6日（水）
調査対象者 : 市内小学校4校、中学校2校、高等学校1校の計7校、18クラス（生徒数約530人）
調査方法 : 学校の授業等で計画の考え方などを説明し、アンケートを実施
調査内容 : 今後4年間のまちづくりに関する意見を自由記載
意見提出 : 425人 自由記載意見件数 : 1,031件

4 さっぽろまちづくりトーク（会場にて回収した意見分）

調査期間 : 平成23年（2011年）7月7日（木）
調査対象者 : 来場された方
募集方法 : 来場された方に用紙を配布し、回収
募集内容 : 今後のまちづくりに関する意見を自由記載
意見提出 : 52人 意見件数 : 57件

5 市民会議（将来の札幌を考える市民会議）

調査期間 : 平成23年（2011年）7月23日（土）
調査対象者 : 市民会議参加者25人
調査方法 : 第3次札幌新まちづくり計画の想定事業を説明し、政策目標ごとのグループに分かれて、ワークショップ形式で議論
調査内容 : まちづくりに関する課題や今後重視してほしい取り組みについての意見を集約
意見数 : 89件

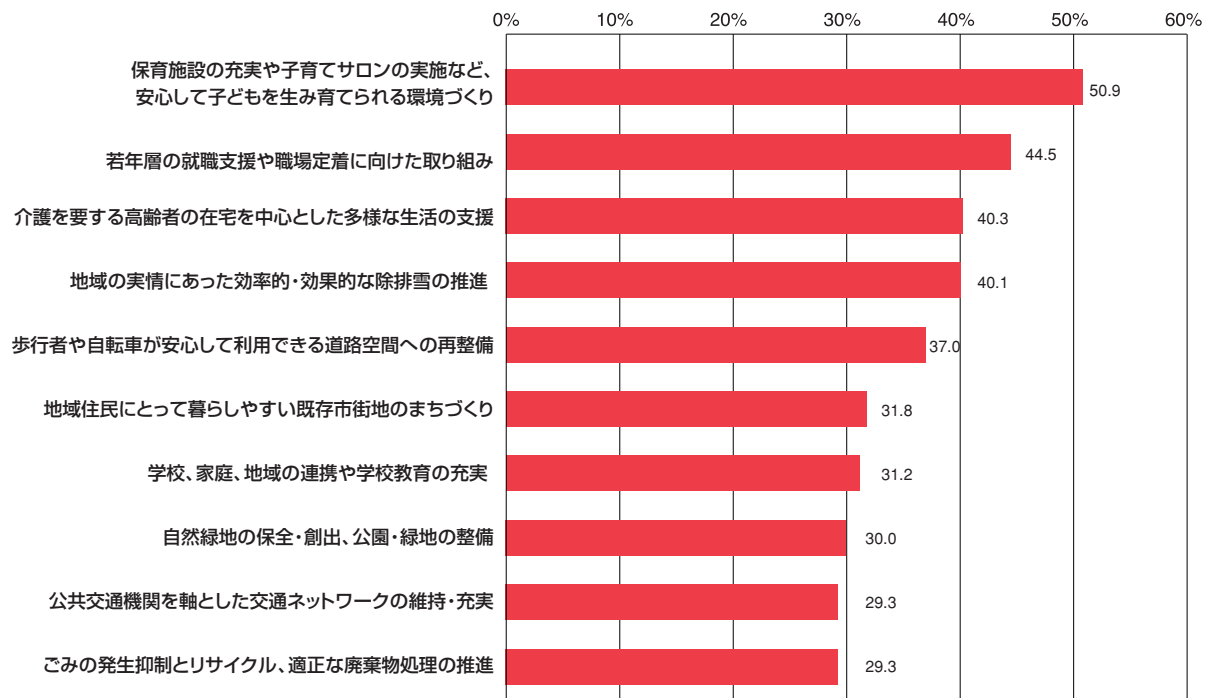
II 市民意向調査の結果

1 市民アンケート結果

○テーマ 「まちづくりにおいて重要だと考えること」

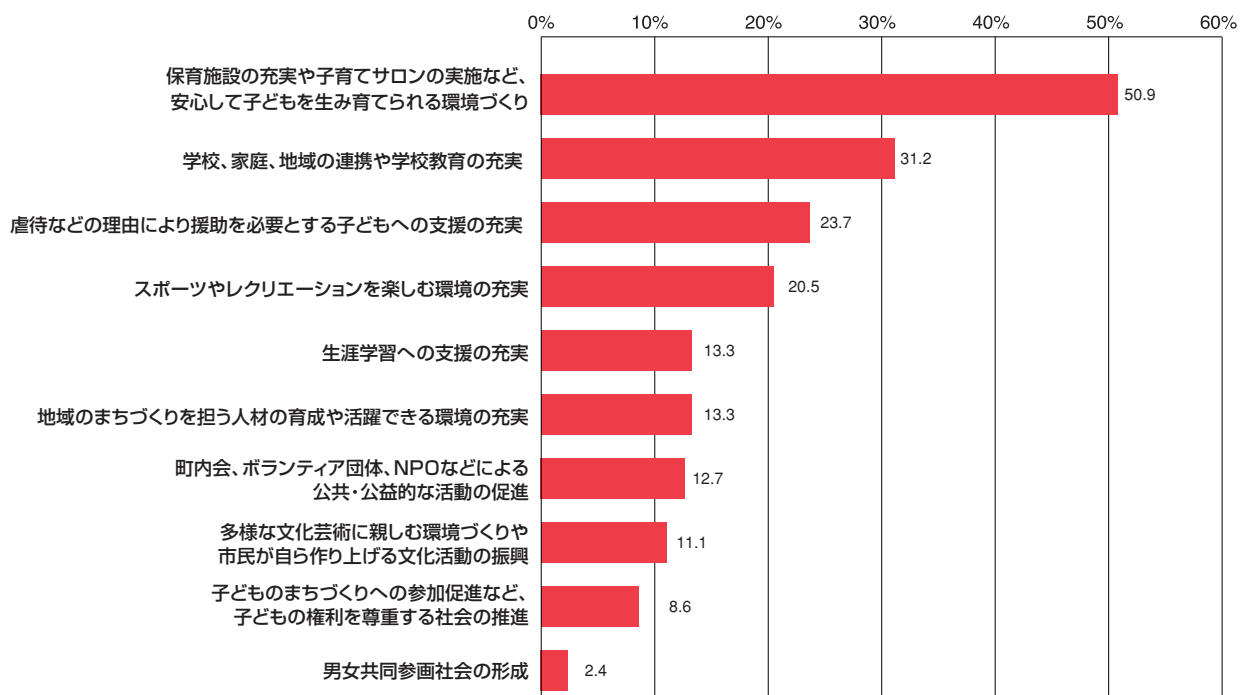
全体

まちづくりを進めていくにあたり、重要と考えるもの（44の選択肢から10個まで）

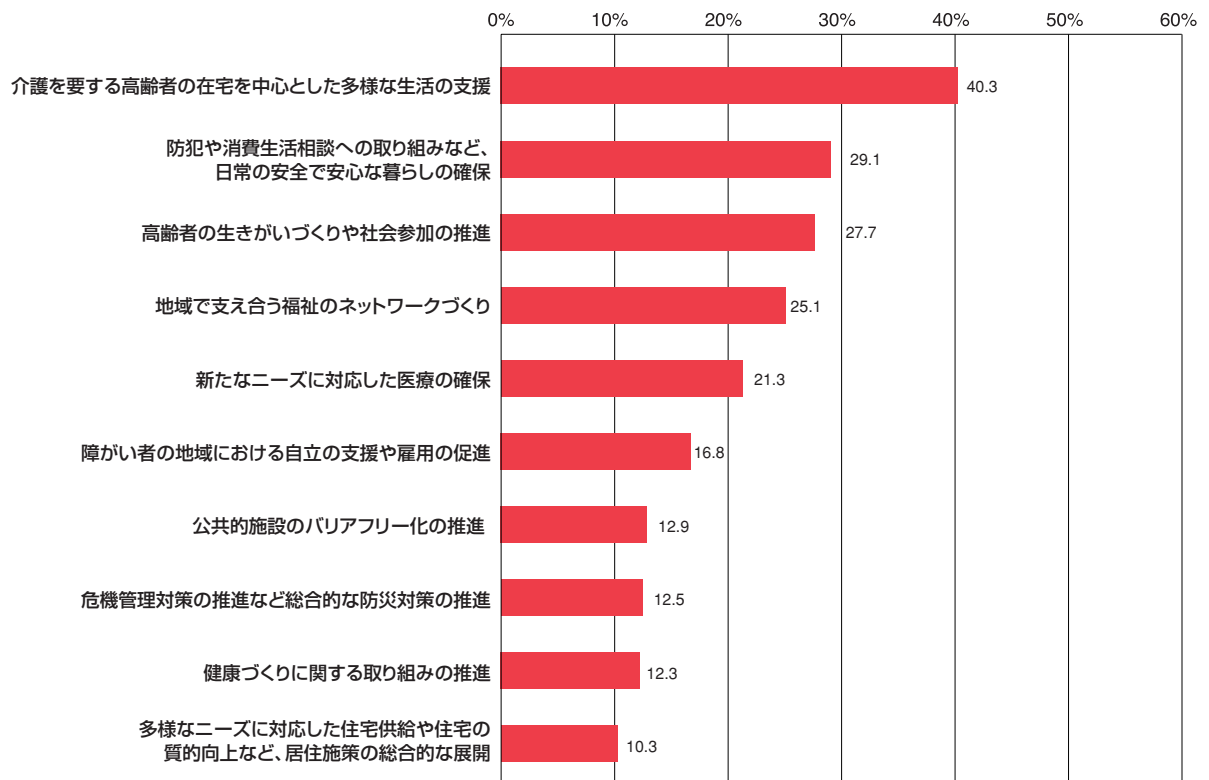


分野別

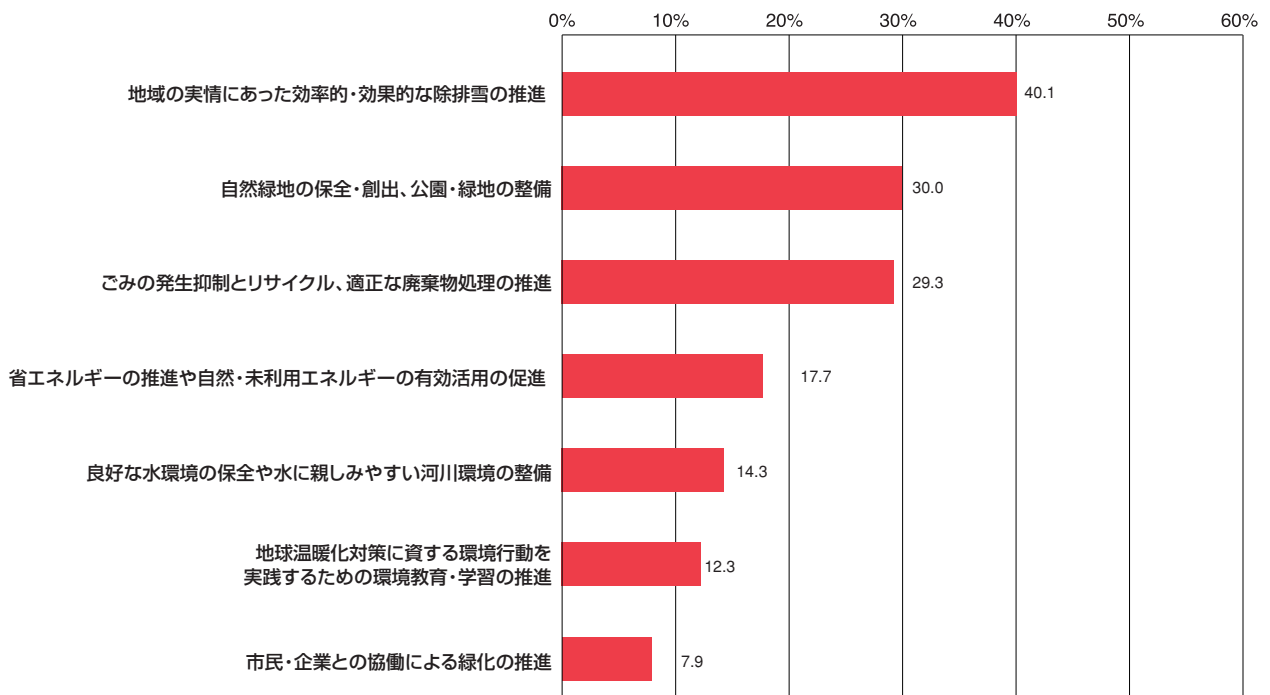
【市民の創造性をはぐくむ環境づくり】



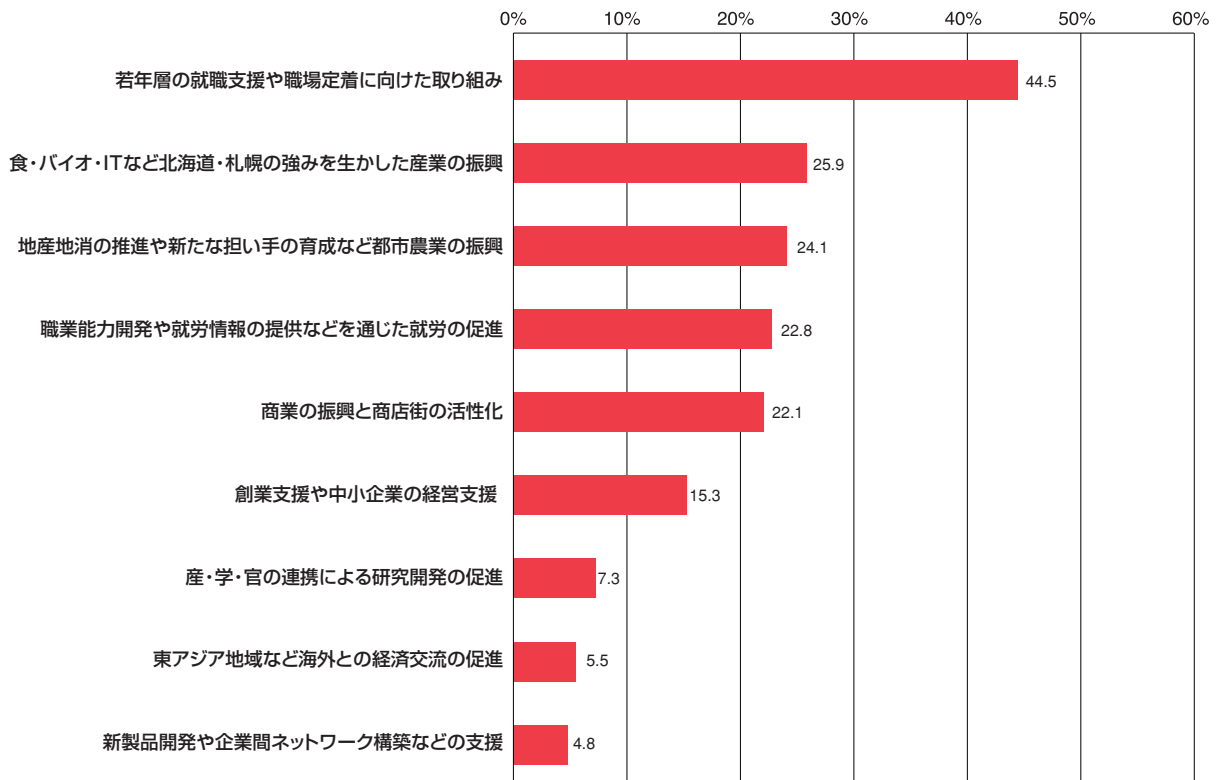
【安心して暮らせるまちづくり】



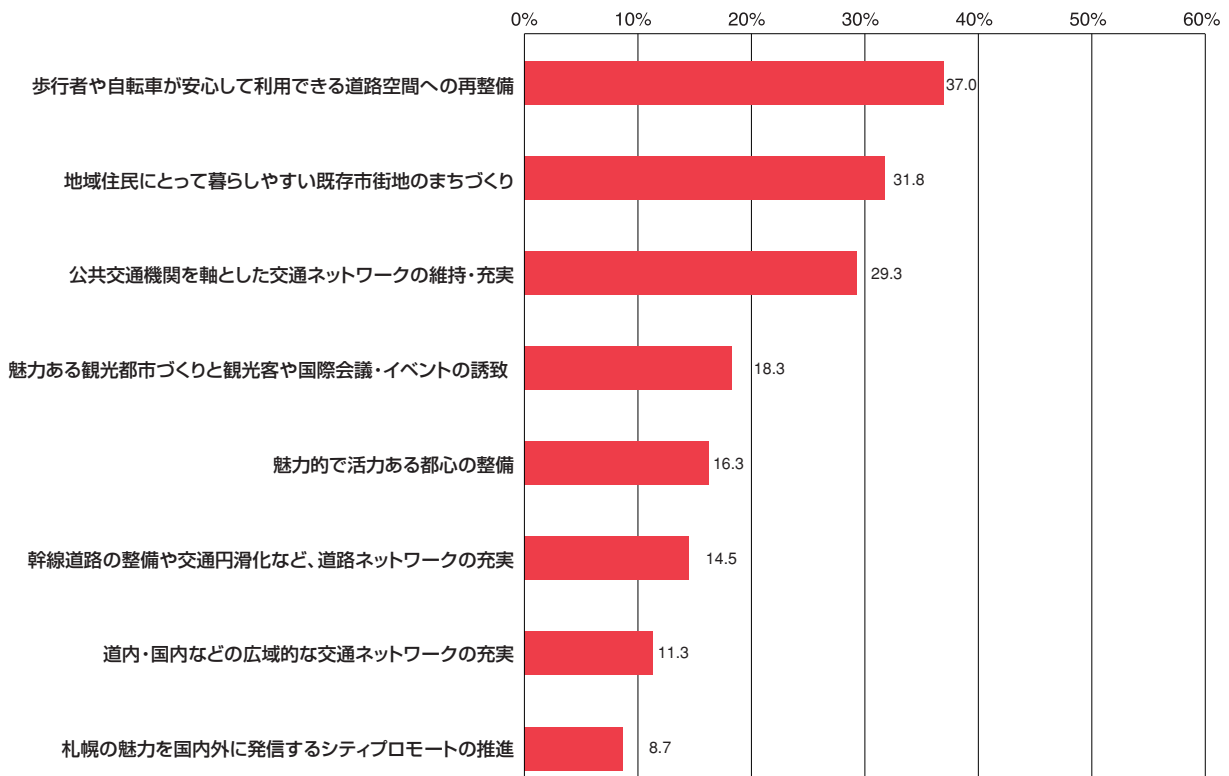
【環境への負荷の少ない都市づくり】



【札幌の経済の活性化】



【札幌の魅力を高めるまちづくり】



まちづくりに関するその他の意見

(複数回答含む意見合計：1,612件 回答数合計：1,412件)

【市民の創造性をはぐくむ環境づくり】

<子育てに関すること> (63件)

○これからを担う子どもたちが健全に成長できる、また、その親が安心して子育てをできる環境づくりが重要だと思います。

<教育に関すること> (65件)

○子どもは未来の宝。子どもがより良い環境で学べる社会を。

<市民参加や地域の交流に関すること> (179件)

○せっかくいいものをつくろうとしても、あまり市民に浸透していないことが多いと思うので、内容のことより、伝えていくことの方が重要と思う。

○何をしてもまず人が一番だと思います。普段から自分の住む地域で、同じ地域の人たちと交流をしていれば、もし何かあったとき、とても心強いと思います。

<文化・スポーツに関すること> (33件)

○文化芸術を創り、楽しめる土壌の醸成。

【安心して暮らせるまちづくり】

<医療や福祉に関すること> (113件)

○産婦人科、小児科が少ないと思います。「子どもたちから高齢者」という見方でいろいろ行ってほしいです。

○高齢者にやさしい集いの場所がたくさんあったら良いと思います。

<日常の安全で安心な暮らしに関すること> (154件)

○路地裏など暗い所には街灯がないので、怖いと思うことが多い。治安面での充実を望む。

○子どもたちが安全に生活ができて、高齢者の方が不自由なく生活できる、素晴らしい札幌市ができてほしいです。

【環境への負荷の少ない都市づくり】

<自然環境や緑化、公園に関すること> (113件)

○さらに緑を増やし、環境により良いまちづくりをしてほしい。

○自然を残す取り組みと維持管理に住民のボランティア協力を求める取り組み。

<冬の暮らしに関すること> (101件)

○除排雪には、大変な苦勞とお金はかかるとはありますが、冬の安全で安心な暮らしを期待します。

<ごみに関すること> (56件)

○きれいな街を目指して、最低限のモラル、ゴミのポイ捨て、ゴミ出し、ゴミステーションの使い方を小さいころからの教育で親と幼児期から考える。

【札幌の経済の活性化】

<経済に関すること> (63件)

○活気あるまちづくり。景気の底上げ、札幌に来たら豊かに暮らせると思える街にしてほしい。

<雇用に関すること> (70件)

○若者が安心して働ける所が増えること。企業誘致や農業促進で雇用を増やせば、経済的にも豊かになり、元気ある札幌になるのでは。

【札幌の魅力を高めるまちづくり】

<観光やイベントに関すること> (94件)

○アジア地域や諸外国から来た観光客に、もっと北海道らしい、もっと札幌らしい場所へ案内したり、外国語を話せるスタッフを増やしたり、案内の看板なども外国の方にも分かるように作るべき。

<都市づくりや景観に関すること> (85件)

○既存のものを少しずつ残し、活かしたまちづくり。すっかり様変わりしていく「街」はちょっとさみしい。

<交通ネットワークや日常の交通環境に関すること> (272件)

○高齢化社会に向けて、公共交通機関の充実、エコにもなるし都心の車渋滞の解消にも役立つと思う。

○歩行者と自転車が安心して通ることのできる道路がほしいとつくづく思います。

<その他> (151件)

○目先のことにのみとらわれず、先を見越して大きな視点で考えていていただきたい。

○市税を無駄にしないまちづくりを目指してください。

2 まちづくりに関する意見（市民意見募集、子ども出前講座、まちづくりトーク、市民会議）

市民意見募集（ハガキ、FAX、Eメール等）の意見、子ども出前講座自由記載欄の意見、まちづくりトーク来場者の意見を計画体系別にまとめたところ、以下のとおりでした。

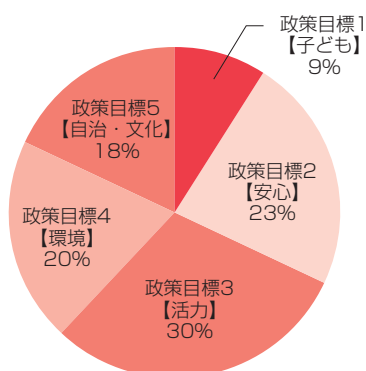
主な意見とそれに対応する計画の施策部分は次ページ以降に示します。

【寄せられた意見内訳】

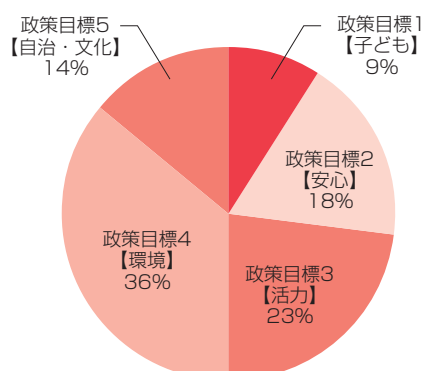
計画体系	意見数(件)	
	大人	子ども
政策目標1 子どもの笑顔があふれる街	17	80
重点課題1 子どもを生き育てやすい環境づくり	(12)	(14)
重点課題2 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実	(5)	(61)
その他	(0)	(5)
政策目標2 安心して暮らせるぬくもりの街	45	163
重点課題1 市民とともに災害に備えるまちづくり	(21)	(44)
重点課題2 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援	(17)	(49)
重点課題3 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実	(6)	(62)
その他	(1)	(8)
政策目標3 活みなぎる元気な街	57	218
重点課題1 札幌の経済を支える企業・人の支援	(6)	(6)
重点課題2 札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致	(4)	(4)
重点課題3 文化芸術や地域ブランドを活かした観光・MICEの推進	(13)	(44)
重点課題4 将来を見据えた魅力ある都市の整備	(33)	(163)
その他	(1)	(1)
政策目標4 みんなで行動する環境の街	39	335
重点課題1 低炭素社会の推進と循環型社会の構築	(23)	(125)
重点課題2 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり	(16)	(199)
その他	(0)	(11)
政策目標5 市民が創る自治と文化の街	35	133
重点課題1 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり	(21)	(36)
重点課題2 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり	(13)	(97)
その他	(1)	(0)
その他（行政サービス全般、市民負担等）	6	102

※市民意見 53件 子ども出前講座 1,031件 まちづくりトーク 57件 市民会議 89件

政策目標別意見数(大人)



政策目標別意見数(子ども)



政策目標1 子どもの笑顔があふれる街			
重点課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分	
重点課題1 子どもを生き育てやすい環境づくり	児童会館を増やして、児童会館に6年生まで行けるようにしてほしい。 【子ども出前講座】	保育所における待機児童の解消に向け、保育所定員を拡大するとともに、家庭的保育や事業所内保育、幼稚園預かり保育等、多様な保育サービスを充実させる。また、児童が安全・安心に過ごせる放課後の居場所として、放課後児童クラブの充実等を進める。	
	保育園や児童会館を増やしてほしい。 【市民会議】【子ども出前講座】		
	職場で子育てを応援できる(小学校中学年以下の子どもがいる人は早く帰れるなど)街にしてほしい。 【子ども出前講座】		ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す企業の取り組みを促進するため、取り組み企業に対し中小企業融資に係る利子相当額の一部助成を行う。
	父親の参加できる子育てサークルをつくってほしい。 【市民会議】		子育てに関する不安の軽減など、安心して子育てできる環境づくりを目的として、常設子育てサロンの支援・拡充を行う。
	いつでも行ける子育てサロンをつくってほしい。 【市民会議】		
重点課題2 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実	学校ALTの先生を増やしたほうが良いと思う。 【子ども出前講座】	生徒の個性を尊重した学びの場のさらなる充実のため、体験的な学習を通じた人権教育や外国語教育を推進する。	
	困っているときに、子どもからでも相談しやすい場所をつくってほしい。 【子ども出前講座】	いじめや不登校への取り組みとして、子どもの不安や悩みを和らげるため、一人一人にきめ細かく対応する「心のサポーター」を配置するほか、スクールカウンセラーなどの相談支援体制を充実させる。また、児童虐待への対応を充実させるため、身近な相談窓口などの予防体制を拡充する。	
	みんなが入りやすく楽しめる児童会館にしてほしい。 【子ども出前講座】	子どもの自主性や創造性、協調性を育むため、児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動を支援するなど、社会参加体験の機会を創出、拡充する。	

政策目標2 安心して暮らせるめくもりの街		
重点課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
重点課題1 市民とともに災害に備えるまちづくり	みんなが安心して暮らせるように津波や地震がきてもすぐに対応できるようにしてほしい。 【子ども出前講座】	東日本大震災の被害状況などを踏まえ、地域防災計画の修正や避難場所の環境整備、土砂災害ハザードマップの作成などにより、災害対策の充実を図る。
	突然の災害に備えて避難場所などを考えてほしい。 【まちづくりトーク】【子ども出前講座】	
	防災について地域住民が積極的に考える必要がある。 【市民会議】	地域が主体となる自主防災訓練や地域簡易型災害図上訓練(DIG)等の実施を支援するほか、自主防災組織のリーダーの育成や学校教育の場を活用した防災知識の普及啓発を行うことにより地域防災力の向上に努める。
	学校など教育現場から災害・防災意識を高めてほしい。 【市民会議】	
	大きな地震が札幌市にいつ来るかわからないので耐震補強工事をしてほしい。 【子ども出前講座】	区役所や学校施設などの市有建築物について引き続き耐震化を図るとともに、橋りょう、下水道施設、水道施設などのライフラインについて耐震補強を実施する。あわせて、民間建築物に対する耐震診断補助など耐震化への取り組みを支援し、災害に強いまちづくりを進める。
	どんな災害でも崩れない家や学校や施設を造ってほしい。 【子ども出前講座】	
	地震などがあっても丈夫な下水管を造ってほしい。 【子ども出前講座】	

政策目標2 安心して暮らせるめくもりの街

重点課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
重点課題1 市民とともに災害に備えるまちづくり	自家発電設備を備える施設を建ててほしい。 【市民会議】	市役所本庁舎等の非常用発電設備の更新整備や冬季災害等の防火対策、消防体制の強化など、万一の場合に備えた体制の充実強化に努める。
重点課題2 地域で支え合う、健やかでめくもりあふれる生活への支援	高齢者が外へ出たくなるような魅力ある街づくりを考えてほしい。 【市民会議】	高齢者が生きがいをもって地域生活を送るため、社会貢献活動やボランティア活動への積極的な参加を支援する。
	年配の方のパワーを町内会など周りの人とのつながりに活かすべきではないか。 【市民会議】	
	高齢者施設を拡充し、サービスを向上してほしい。 【市民会議】	すべての人が安心して健やかに生活を送れるよう、特別養護老人ホームの定員拡大や地域医療体制の充実など、福祉・介護・医療サービスの充実に努める。
	体の不自由な人がもっと不便なく生活できるようにすると良いと思う。 【子ども出前講座】	障がいのある人が健やかで安心した地域生活を送れるよう、相談支援体制や障がい福祉サービスの一層の充実を図るとともに、地域における居住環境の整備や歩道のバリアフリー化を進めるほか、障がいのある人を地域全体で支え合う体制づくりに努める。また、障がいのある人の就労を促進するため、障がい者協働事業など民間企業と協力して雇用の場を確保するとともに、職場定着に係る相談支援体制の充実を図る。
重点課題3 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実	生活保護世帯をはじめとした雇用改善について、まちづくりセンターなど通いやすい場所にハローワークの端末を用意したり、自己啓発を促しやすいような支援を考えてほしい。 【意見募集】	安心して働ける環境づくりを進めるため、「あいワーク」を拡大し、すべての区で職業紹介を行うとともに、若年層などの就業支援を推進する。また、その他の取り組みと合わせて5万人の雇用創出に取り組む。
	就職率をもっと高くしてほしい。 【子ども出前講座】	
	就業サポートセンターの他に、大学卒業後5年程度の若者を対象に、企業などの紹介やマッチングを行うことはできないか。 【まちづくりトーク】	
	未然に犯罪を防止できるようにしてほしい。 【子ども出前講座】	地域の防犯活動の促進や、消費者・女性に対する被害の未然防止など、身近な暮らしの安心を確保する取り組みの充実に努める。
	警察などとの連携も視野に、住民の防犯パトロール活動の推進、奨励を提案したい。 【まちづくりトーク】	
	線路に落ちるとあぶないので、東西線のように他の地下鉄にも柵をつけるといいと思う。 【子ども出前講座】	身近な暮らしの安心を確保する取り組みとして、地下鉄の可動式ホーム柵設置を推進する。
	冬の歩道に雪がたくさん残っているので除雪をもっとしてほしい。 【子ども出前講座】	冬の暮らしをより快適なものとするため、地域の実情に応じた除排雪を実施するとともに、雪対策の普及啓発や教育活動を行い、「協働で支える雪対策」を推進する。また、安定した除排雪体制を維持するため、有効な契約方法の検討を進めるほか、関係団体等との連携強化に努める。
	除雪・排雪に力を入れて、できるだけ早くきれいにしてほしい。 【まちづくりトーク】	

政策目標3 活力みなぎる元気な街		
重点課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
重点課題1 札幌の経済を支える 企業・人の支援	創業支援と未発達なベンチャー企業や中小企業への継続的なサポートを充実してほしい。 【市民会議】	中小企業を資金面から支援するため、既存の融資制度を継続するとともに、創業支援資金の融資対象を拡大するなど、融資制度をさらに拡充する。
	身近にあるお店をもっと増やしてほしい。 【子ども出前講座】	地域の活性化を図るため、空き店舗を活用した地域の交流拠点など、地域のコミュニティの核となる商店街の再生を推進する。
	地域の商店街を有効に活用してほしい。 【市民会議】	
	道産食品を海外にたくさん輸出してほしい。 【子ども出前講座】	中国などのアジア圏諸国との経済交流を促進し、市内企業のグローバル化や海外展開に対する取り組みを進め、市内中小企業の国外への販路拡大に対する支援を拡充する。
重点課題2 札幌の強みを活かし た産業の育成と企業の誘致	中核となる産業への支援をしていくべき。 【市民会議】	札幌に強みがあり、新たな経済成長の原動力となる分野に関連する中小企業者等に対し、低利かつ長期の融資制度を新たに創設する。また、北海道の豊富な「食」の高付加価値化に向けた取り組みを進めるほか、今後成長が期待される「環境」「健康・福祉」分野における新たな産業の創出に向けた取り組みを産学官連携により進める。
重点課題3 文化芸術や地域ブランドを活かした観光・MICEの推進	知名度を上げて、観光客がよく来る街にしてほしい。 【子ども出前講座】	国際芸術展の開催やユネスコ創造都市ネットワークへの加盟など、新しい価値や産業の創造へ向けた取り組みを行うほか、創造都市と連携したさっぽろ雪まつりの魅力アップを図る。
	札幌という街の個性と文化をもっと世界へ発信する必要があると思う。 【まちづくりトーク】	
	よくコンサートに行くのでオペラができるようなホールがあったら良いと思う。 【子ども出前講座】	将来の市民の文化芸術・創造活動の拠点となる（仮称）市民交流複合施設の整備を行う。
	他の国の人が来ても楽しめる街にしたい。 【子ども出前講座】	国際会議や報奨旅行をはじめとするMICEの開催適地として国内外にPRするなどし、MICE誘致を推進する。また、地域や対象に合わせて戦略的な観光客誘致を行う。
	もっと札幌市全体を有名にして観光客を増やしていったらもっと良いと思う。 【子ども出前講座】	
	震災などで別の県の人たちが札幌市に来たときに、温かく迎えられる街にほしい。 【子ども出前講座】	
重点課題4 将来を見据えた魅力ある都市の整備	札幌まで新幹線を走らせてほしい。 【子ども出前講座】	北海道新幹線の札幌延伸の推進を図る。
	「SAPICA」をみんなが使いやすいように、バスや電車などの公共の機能への導入を実現してほしい。 【子ども出前講座】	ICカード「SAPICA」の導入拡大など公共交通の利便性向上を進める。
	地下鉄の延伸などもっと便利になるように公共交通機関を整備してほしい。通学や通勤、高齢者の外出にも大切なことだと思う。 【子ども出前講座】	持続可能な地域交通体系の検討や公共交通に対する意識の醸成を図る。
	自転車を使用する人が多くなっているため、都心の駐輪場をもっと増やしてほしい。 【まちづくりトーク】	自転車マナー向上対策や駐輪対策の推進を通じた自転車利用の適正化を進める。

政策目標3 活力みなぎる元気な街		
重点課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
重点課題4 将来を見据えた魅力ある都市の整備	少子高齢化社会になる中、札幌のコンパクトシティ化を推進してほしい。 【意見募集】【まちづくりトーク】	将来を見据えた都市構造への強化を推進するため、「札幌市都市計画マスタープラン」の見直しを進める。

政策目標4 みんなで行動する環境の街		
重点課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
重点課題1 低炭素社会の推進と循環型社会の構築	地球のためにできることをいろいろ協力して、地球温暖化をストップできるようにしたい。 【子ども出前講座】	市民や事業者が、環境に配慮した行動を促進するため、CO ₂ の見える化や省エネの取り組みなどについて、支援や情報発信を行い、実践に結び付けるよう進める。
	札幌市のエコ活動を進めていきたい。 【子ども出前講座】	
	ソーラー発電やクリーンエネルギーを多く活用できる街にしてほしい。 【子ども出前講座】	市民や事業者の省エネルギー・新エネルギー導入などに対する支援を拡充する。
	CO ₂ 抑制は喫緊の課題となっているので、電気自動車の導入を促進、急速充電スタンドの敷設、電気自動車購入時の補助金の増額をしていくべき。 【意見募集】	市民や事業者への次世代自動車導入に対する支援を行う。
	太陽光パネルが付いている学校を増やした方がよい。 【子ども出前講座】	札幌市が率先して太陽光や雪冷熱などの再生可能エネルギーを導入し、その成果を市民や事業者に対して積極的に情報提供し、普及促進を図る。
	雪をハンディキャップと考えずにプラスで考えて、雪を活かすよう取り組んでほしい。 【市民会議】	
	ゴミの分別をしたり、リサイクルのできるものはたくさんしてほしい。 【子ども出前講座】	
生ごみの堆肥化を進めてほしい。 【市民会議】	ごみ減量やリサイクルの更なる推進を図るため、生ごみ資源化に向けた実証実験を行い、新たなリサイクル方法を検討する。	
重点課題2 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり	ボランティア活動を通して木を植えるなど、もっと積極的にみどりを増やす取り組みをやってほしい。 【子ども出前講座】	市民・企業と連携してみどりづくりを進めるため、都心部のみどりのボリュームアップにつながる新たな助成制度を創設するとともに、市民植樹祭など市民や企業と連携する取り組みを進める。
	生活と調和した街になるように、みどりを増やしてほしい。 【子ども出前講座】	みどり豊かな美しい景観づくりを進めるため、都心部や主要幹線において、街路樹のボリュームアップを図る。
	公園などを整備して、安全に遊べる場所がある街にしてほしい。 【子ども出前講座】	地域の公園について、誰もが安全に安心して利用できるよう、バリアフリー化を図るとともに、市民参加による身近な公園の再整備を進める。
	生き物たちが安心して暮らせる街にしてほしい。 【子ども出前講座】	札幌の豊かな自然環境や生物多様性を守るため、生物多様性さっぽろ戦略の策定やみどり資源の保全など札幌に息づくさまざまな動植物の保全に取り組む。
	円山動物園にゾウがきてほしい。 【子ども出前講座】	市民が動物に親しむ機会を充実するため、ゾウの導入検討を行う。

政策目標5 市民が創る自治と文化の街

重点課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
重点課題1 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり	市民と市役所の職員が協力しながら街をどんどん良くしていきたい。 【子ども出前講座】	市民による主体的なまちづくりをさらに推進するため、市民参加の手法を取り入れた札幌市のまちづくりの将来ビジョンを策定するなど、市政への市民参加を促進する。
	地域の人と交流できる場所をつくってほしい。 【子ども出前講座】	地域のコミュニティ活動の拠点であるまちづくりセンター・地区会館、市民集会施設について、地域のニーズに応じた改修や建築費補助の拡充などにより、整備を推進する。
	市民・企業が主体となるまちづくりが必要だと思う。 【市民会議】	区民協議会の運営支援やまちづくりセンターの地域自主運営化を通じて、市民自治の実践による地域づくりを進める。また、行政単独での対応が困難な社会的課題等に取り組む団体への支援などNPO・企業・市民の社会的活動への支援を総合的に推進することにより、多くの市民がまちづくり活動に参加できる環境づくりを行う。
	超高齢化社会、少子化、人口減少という社会問題には、行政だけではなく、民間やNPO、町内会などが相互に協力し合うことが必要だと思う。 【まちづくりトーク】	
	地域の基本単位である「町内会」をもっと有効に使える施策を市民を交えて検討してもいいのではないかな。 【まちづくりトーク】	
	地域の詳しい地図をもっとたくさん増やしてほしい。 【子ども出前講座】	
	開拓から街を形成してきたときのように外国人ともっと交流するべき。 【市民会議】	異なる立場の人々が、互いの文化的違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生」の社会を実現するため、青少年によるセミナーの開催など姉妹都市などとの国際交流を一層推進する。
重点課題2 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり	歴史を知って、その流れから将来のことを考えることができる環境づくりが必要。 【市民会議】	札幌への理解を深め、創造性を育むため、次世代型博物館計画を策定するほか、遺跡公園「(仮称)古代の里」を整備する。
	気軽にスポーツに参加できる場所を増やすべき。 【市民会議】	市民が気軽に健康づくりやスポーツに親しむことができる環境を整備するため、指導者の養成や派遣などにより健康づくり活動を推進するほか、地域ニーズに応じたスポーツ振興の支援を行う。また、多様なスポーツニーズに対応し、全道・全市規模のスポーツ大会やイベントなどを開催できる総合体育館を建設する。
	スポーツをする施設を増やし、大会がもっと開催できるようにしてほしい。 【子ども出前講座】	
	札幌は雪が降るので雪を活かした冬のウィンタースポーツを推進してほしい。 【子ども出前講座】	札幌ならではの地域特性を活かして、ウィンタースポーツの活性化を図るため、通年型カーリング場を整備するとともに、競技の普及を行うほか、冬のスポーツ体験やスポーツツーリズムを推進する。また、新たなウィンタースポーツを振興するため、冬の国際スポーツ大会の誘致やアジア冬季大会の開催などの取り組みを進める。

Ⅲ さっぽろまちづくりトーク

- 1 **開催趣旨** 第3次札幌新まちづくり計画の策定方針や重点課題などについて、市民のみなさんに情報提供することや、まちづくりについての意見を収集するために、まちづくりに関するシンポジウム「さっぽろまちづくりトーク」を開催しました。
いただいたご質問・ご意見については、施策の検討や、計画事業を選定する際の参考としました。

2 **日 時** 平成23年（2011年）7月7日（木） 18:30～20:30

3 **会 場** 札幌エルプラザ（来場者約200人）

4 プログラム

市長メッセージ

「北の希望都市・札幌を目指して」

これまでの2期8年で、「市民が主役のまちづくり」「市民の力がみなぎる、文化と誇りあふれるまち札幌」を基本方針に掲げてまちづくりに取り組んできたが、そのまちづくりの基本方針について、皆さんともう一度考え、ご意見をいただきたい旨、市長からお話しました。

座 談 会

「みんなの知恵と力で豊かさと幸せを実感できるまちへ」

司会兼座談者	吉田 聡子 氏	（株）桐光クリエイティブ 代表取締役
座 談 者	池田 光司 氏	池田食品（株） 代表取締役
座 談 者	中島 岳志 氏	北海道大学公共政策大学院 准教授
座 談 者	上田 文雄	札幌市長

以下のような事柄について、意見交換が行われました。

- この10年間くらい、自助の部分ばかりが言われてきた。そうではなくて、公助と共助の部分をしっかりリンクさせていくことがこれからのビジョン。
- 会社というのは、まちの縮図。共通するのはどんなに立派な理想を掲げても、実際に市民、社員が山びこのように響いてこなければならない。だから社員が主体の会社は力強い。
- （さぽーとほっと基金について）身障者の「万人の響」というコンサートに協力させていただいた。感謝の手紙をいただくなど、社員がそのことをきっかけに新しい世界をつかみ始めている。貢献というのはそういうこと。
- （まちづくりセンターについて）地域ニーズなどをしっかり吸収して、それをどう政策につなげていくかという、そういう主体性が必要。まちの人たちのやる気、主体性をどう引き出すのかという能力がこれからの公務員に求められている資質。
- 現代社会は便利さの追求によって失った物がたくさんある。それと大都会の匿名性がコミュニティを破壊し、自分が本当に必要としているものさえも失ってしまう。我々は、求めるべきもの、本当に真の豊かさというものが何だったのかをしっかりと考えたい。
- 人との関係性の中で自分の生きる場所をしっかりとつくっていくということがまちづくりの重要なポイント。山びこが呼応し合うような札幌のまちになると本当に素晴らしい。

来場の方々からの質問・意見に基づく座談者によるフリートーク

来場された皆さんからのご質問・ご意見について、座談者から以下のようなコメントがありました。

	来場者の主な意見・質問	座談者のコメント（要旨）
1	○札幌でもう一度冬季オリンピックが開催できる可能性はあるか。スポーツとまちづくりについて意見を聞かせてほしい。	○オリンピック以外にもいろんな総合冬季大会、アジア大会や世界選手権などもある。人が交流するのにもとても大事なイベントだと思うし、子どもたちも刺激されて選手になりたいと思えるような、質の高い競技大会を誘致していくことは大切なこと。 ○スポーツはもう少し身近なものも必要になっていくのだと思う。 ○私が子どもの頃、札幌で世界大会があった次の年から子どもたちのウェアがカラフルになってすごく感銘したことを覚えている。そういう世界大会から刺激を受けて良いものもいっぱい生まれてくる。
2	○先日、札幌駅前通地下歩行空間がオープンしたり、創成川の公園ができたたりして、中心街が変わっていているが、これをどう有機的に結び付け、まちの活性化につなげることができるのか。	○創成川の公園などいろんな所にオブジェを設置したり芸術的な物を展示し、子どもたちがそういった感性に触れていく場面が多いので、そういう方向に向かうのはとてもありがたい。 ○駅前のにぎわいと大通のにぎわいがつながり、東西の地下鉄のコンコース、創成川公園を含み、創成川イーストという文化領域を新しくつくっていく、というダイナミックな都市の連携ができていく。そういう札幌駅前通地下歩行空間の重要性を、本当に大事に、これから使いこなしていきたい。 ○これまでの建築、都市設計は目的や機能すべてが上から設計され、意味づけられているようなデザインややり方だった。しかし、現代の建築家たちは原っぱが必要だという。いろんな主体がそこで引き出される、創発性があるような環境や空間を整えていくことが大事。そういう空間に札幌駅前通地下歩行空間や創成川がなっていけば良い。
3	○震災避難民はもちろん、住み良い札幌に移住を呼び掛け、活性化してはどうか。	○いいアイデア。札幌にたくさん、いろいろな視点と能力を持った人が入ってくると、また札幌に新たな発想が生まれるのではないか。

IV 子ども出前講座

- 1 開催趣旨** 子どもの視点も大切にしたい計画にするため、新たな取り組みとして、計画の考え方を子どもたちに知ってもらい、意見交換する「子ども出前講座」を実施しました。講座では、子どもたちに札幌市の現状や市役所の仕事、今後のまちづくりの方向性などについて勉強してもらいました。子どもたちの間で非常に活発な意見交換が行われたほか、講座実施後のアンケートでも、たくさんの意見が寄せられました。
- 2 実施時期** 平成23年（2011年）6月17日（金）から7月6日（水）
- 3 実施対象** 市内小学校4校、中学校2校、高等学校1校の計7校、18クラス（生徒数約530人）
- 4 主な意見の概要**

○子どもたちにとって身近な公園などの遊び場の充実に関する意見や、みどりの保全や植林などの自然保護に関する意見が多数寄せられました。

○また、東日本大震災があったことから、防災に関する意見や、太陽光パネル、風力発電など再生可能エネルギーに関する意見も多くありました。



V 市民会議

1 開催趣旨 今後10年間のまちづくりの基本的な方向性を示す「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の策定に向けた市民参加事業である「将来の札幌を考える市民会議」の第2回会議において、今後の中期的なまちづくり計画である本計画をテーマに議論をしました。5つの政策目標ごとにグループに分かれ、ワークショップ形式で議論を行い、まちづくりについての現状における課題や今後重視してほしいまちづくりの取り組みについて、さまざまな意見が出されました。

2 日時 平成23年（2011年）7月23日（土） 10:00～12:15

3 参加者 無作為抽出による市民会議参加者25人

4 主な意見の概要

- 特に父親にとって気軽に子育てに関して話せる場が少ないので、父親が参加できるサークルをつくる。
- 日頃、防災についての関心がない人が、いざというときにスムーズに避難できるように、防災マップを充実させたり、電柱など人目につきやすいところに避難場所を示すサインを設置する。
- 観光客誘致の目玉が今一つはっきりしないので、自然風景や雪、食などの観光面での札幌の強みを再確認し、効果的なPRをすべき。
- クマなどの野生動物と共生できる環境を目指し、例えば、グリーンベルトをつくり、動物が行き来できるような環境をつくる。
- 市民全体で芸術を楽しむ雰囲気にならず、芸術は好きな人（一部の人）しか楽しんでいないので、文化イベントの目的と効果をはっきりさせ、効果的なイベントを行っていくべき。

